

3学年だより

～ 今週の言葉 ～
「天に星 地に花 人に愛」
(ゲーテ / 詩人)

令和 2年 5月 21日(木)発行 第4号

学校再開～風薫る五月 新たな気持ちで～

新型コロナウイルス影響で、一ヶ月にも及ぶ長い休校がありました。みなさん、いかがお過ごしでしたか？
みなさんがいない休校中の学校は、なんだかガラーンと広くて、もの寂しい感じでした。みなさんが登校してきて、「やはり学校は、生徒のみなさんがいてこそ活気があっていいものだ…」としみじみ思います。
とはいえ、学校が再開されても、「今後の学習は…？ 行事は…？」といった心配や不安もあるでしょうし、制限された生活の中で、ときに苛立ちを覚えることもあることでしょう。

最近ACジャパンでは、地域キャンペーンと称してコマーシャルを制作し放映しています。ご覧になったことはありますか？東北地方では『未来へ綴ろう 東北のこころ』というメッセージとともに、東北出身の文学者の言葉を紹介しています。私たちが住む東北地方は、宮沢賢治や太宰治をはじめ、有名な文学者を輩出しています。そんな先人たちの作品の一部には、同じふるさとに生きる私たちが受け継いでいきたい、東北人としてのどんな時も前を向いて生きていく「たくましい生き方や精神」が現れています。

- 雨ニモマケズ 風ニモマケズ ～宮沢 賢治 (岩手県出身)「雨ニモマケズ」～
- 大地を 一歩一歩ふみつけて ～志賀 直哉 (宮城県出身)「暗夜行路」～
- 走るのだ 信じられているから走るのだ ～太宰 治 (青森県出身)「走れメロス」～
- 闇があるから 光がある ～小林多喜二 (秋田県出身)「書簡集」～
- 人間は 奇蹟そのもの ～井上ひさし (山形県出身)「きらめく星座」～
- わが往く道よ 大きくあれ ～草野 心平 (福島県いわき市出身)「道」～

ちなみに、「沖縄バージョン」では、「思いやり、優しさ、人を気づかう心」などを表す「チムグクル(肝心)」という沖縄の言葉を用いて、日々の生活の中でできる小さな思いやり＝「1日1チムグクル」をしようと訴えています。「1日1思いやり」といったところでしょうか……。

まだ大変な状況は続くのですが、前を向き、思いやりの心を忘れずに歩いていきましょう。

保護者の皆様におかれましても、ご苦労が絶えないことと思いますが、『新しい生活様式』などを参考に、お気をつけてお過ごしください。



変更があれば
ご連絡します

先日、実力テストの年間予定と範囲表を配布しました。計画的に頑張りましょう。

<来週の予定>

25	月	衣替え準備期間(～29日)、 弁当持参 短縮日程 15:05 下校予定	28	木	短縮日程 15:05 下校予定
26	火	卒業アルバム個人撮影(冬服) 短縮日程 15:05 下校予定	29	金	短縮日程 14:10 下校予定
27	水	短縮日程、5校時は月曜日5校時の授業 6校時はカット 14:00 下校予定	学校生活のリズムを取り戻そう！！		